

# 特 殊 報

岡病防第 14 号

平成 24 年 6 月 13 日

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察特殊報第 1 号を下記のとおり発表したので送付します。

平成 24 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号

平成 24 年 6 月 13 日

岡 山 県

- 1 病虫害名：トルコギキョウ葉巻病
- 2 病原菌：トマト黄化葉巻ウイルス (TYLCV ; *Tomato yellow leaf curl virus*)
- 3 作物名：トルコギキョウ
- 4 発生面積：10 a
- 5 特殊報の内容：岡山県での初発生を確認
- 6 初発生確認月日：平成 24 年 5 月 30 日
- 7 初発生場所：岡山県南部
- 8 発生状況：平成 24 年 5 月、岡山県南部のビニルハウス内においてトルコギキョウの節間や葉の萎縮、生長点付近の葉巻、葉脈の隆起などの症状がみられる株が確認された。岡山県農林水産総合センター農業研究所において PCR 法によるウイルス検定を行ったところ、TYLCV が検出され、トルコギキョウ葉巻病であることが確認された。

トルコギキョウ葉巻病は平成 11 年に長崎県で発見され、平成 24 年 6 月現在、14 県から特殊報が発表されている。なお、岡山県では平成 17 年に同病原ウイルスによるトマト黄化葉巻病の発生を確認している。

## 9 病徴

上位葉の節間が萎縮し、葉が小型化する。葉表を内側にして葉が巻き、葉裏の葉脈が隆起する。葉が黄化する場合もある。

## 10 病原ウイルス及び発生生態について

本ウイルスはタバココナジラミによって媒介される。成虫及び幼虫は罹病植物を吸汁することで、ウイルスの伝搬能力を獲得する。伝染は永続的に行われるが経卵伝染はせず、汁液伝染、種子伝染、土壌伝染はしない。

本ウイルスの感染が確認されている植物は次のとおりである。

ナス科：トマト、ミニトマト、チョウセンアサガオ、ペチュニア、イヌホウズキ、ピーマン、ジャガイモ等

キク科：ヒャクニチソウ、ノゲシ等

マメ科：インゲン、ヒラマメ

アオイ科：ウサギアオイ

トウダイグサ科：エノキグサ等

リンドウ科：トルコギキョウ

ナデシコ科：ウシハコベ

スイカズラ科：スイカズラ

## 11 防除対策及び参考事項

- (1) トルコギキョウの他、特に家庭菜園のトマトなどが伝染源となるので発病株の早期発見・除去に努め、埋設処理する。また、圃場周辺の作物や雑草がタバココナジラミの発生源となる恐れがあるので、本虫の増殖を防止するとともに、除草を徹底する。
- (2) 施設栽培では出入口やサイドなどの開口部には防虫ネット（目合い 0.4mm 以下が望ましい）を張り、タバココナジラミの侵入を防止する。
- (3) 発病を確認した施設では、施設を密閉し蒸し込んで、タバココナジラミを死滅させ、施設外への拡散を防止する。



図1 トルコギキョウ葉巻病の病徴（左：節間や葉が萎縮した株、中：生長点付近の葉巻症状、右：葉裏の葉脈の隆起症状）



図2 タバココナジラミ成虫（体長約 1mm）

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239)